

## 平成29年度第2回宝塚市パブリック・コメント審議会議事録

- 1 開催日 平成29年10月3日(火) 10時00分～11時55分
- 2 開催場所 宝塚市役所3階 特別会議室
- 3 出席者 委員8名、事務局4名
- 4 議事
  - (1) 平成28年度に実施したパブリック・コメント手続の個別評価(案件No.1～5)について
  - (2) パブリック・コメント手続マニュアル(案)について

○事務局 <開会>

出席者委員の報告。8名中8名の出席で、審議会は成立。傍聴希望者はなし。

○会長 平成28年度実施のパブリック・コメント手続17件について、総合評価表に各委員が評価したものを事務局が取りまとめている。その資料を基に本日と16日、30日で評価を確定していきたい。3回に分けて評価していく。まず事務局から資料No.1、2について説明してもらおう。

○事務局 資料1(A4用紙)は、各委員の総合評価(A～E)を取りまとめたもので、表の真ん中から右側に各評価の獲得数を記載しており、5点満点で平均点を付記している。審議の参考としていただきたい。一番右端の欄に審議結果の全体評価を決定していただく。資料2(A3用紙)は各委員のコメントをまとめている(すべてのコメントを網羅しているのではなく、抽出したもの)。計画案や条例案そのものへの意見は割愛させていただいている。

○会長 資料について質問等はないか。

○委員 質問等なし。

○会長 それではNo.1～5について順番に審議していく。

**No.1**「宝塚市立幼稚園の適正規模及び適正配置に関する基本方針(案)について」を審議する。

順番に各委員の意見をお聞きしたい。

○委員 どのように評価したら良いか悩んだ。多くの意見に対して一つ一つ丁寧に答えているので、それは良い。

○委員 本来意見募集と案があれば良いのかなと思っていたが、審議会の答申書やプロジェクトの報告書があったりして、読むのに一苦労した。結果返答も多く寄せられているが「計画案のとおり」と

いう答えがほとんどである。コメントが寄せられた市民に対しての耳を貸していない。審議会の結果・答申、プロジェクトの部分を盾にして、市の方針を押し通そうとしているように思えるので、評価としては厳しくした。

○委員

3つあります。

①「幼児教育センター」の意味が分からない。自分達の都合の良いセンターを造って市のやりやすいようにしていこうという考えがうかがえる。

②私立の幼稚園はバスを出したり運動会をしたり、窓ガラスに作品を貼ったり、意欲的である。私学を幼稚園の幹部がもっと研修等で知って比べるべき。

③文部科学省と内閣府は、幼稚園で2歳児を受け入れると発表した。今後もっと厳しくなることが心配。

○委員

市民からの質問に対しては一つ一つ丁寧に答えてはいますが、内容については、先ほど委員が仰ったことと同感で、「計画案のとおりとします」という答えがほとんどである。各学級の数については、まとめられたものと実際の人数と違うのではないか。数字の根拠がはっきりしていない。納得のできる材料を示していただきたい。

○委員

幼稚園に対する意見は当事者からの意見が多く、もう少し広い範囲で意見を頂けても良かったのではないかと（例えば年配の方、これから幼稚園、保育所に入れようとしている人達）。たくさんの方の意見に対して丁寧に答えている。パブリック・コメントとしては、意見を言える立場ではない。市民の意見をどのようにして反映させるかということでは、よくできていると思う。内容については意見できない。

○委員

身近に感じていることに対しては、多くのコメントが寄せられる。基本方針に関しても具体的に書かれているので、評価としては当然ではないか。幼稚園については基本がはっきりしており、「具体的なことについては、次の段階で入れる」というコメントがあり納得ができた。

○委員

結果的には155人か122人か数字が違う。何か理由があるのかと思ったが、無いようなので了承する。結果報告を整理して、まとめて書いてもらえたらありがたい。

募集の段階で審議会についても明らかにしているのだから、これは評価できる。

- 会長 委員8名の評価を見ると一番多いのはBランク、その次がC、その次がA、Dが一人ずつだが、C・D評価をしている方の意見は重たいと思うのどうかをいたい。
- 委員 D評価をしたが、全てを評価した際にB・Cなど中間評価をすることが多かった。もう少し細かく前後に評価するようにし、当初Cとした所を1ランク下げた。
- 会長 パブリック・コメントとして意見をいただいたのに、それに対する答えが「計画案のとおり」であるという答えが多かった。これについてはどうか。
- 委員 廃園になるという噂が広まっており、中山五月台、長尾南、丸橋と幼稚園があるが、保護者や地域の方々が、意見を組織的に出されたのではないか。それに対して、行政（教育委員会）が譲れないところもあると思う。教育委員会の先を見る目を信頼しているので、今回の色々な意見に対しては、良く対応されていると思う。
- 会長 Aをつけられた方からもご意見があれば。
- 委員 「対処の仕方は実施計画の策定段階でやる」とある。「ここを廃止する」となれば「なぜ？」といった意見も出てくると思われる。筋が通っており良いのではないかと思いますAとした。
- 会長 確かに、「これで何が決まるのか」と思われる方もいるかと思われる。要するに、大きな方針を決めて、次に細かい部分（廃止するにはどのように民間と公立がうまくやっていけるか等）に入っていく。その公立の照準が決まればさらに細かい部分に入っていく。統廃合の話も出てくる。そういう段取りかと思われる。
- 基本方針というのは市民にはなじみにくい言葉だが、一番上の枠であり、手続き的には非常に慎重に段取りを踏んでいるかと思われる。
- 委員 長尾南幼稚園は今はまだあるが、そのうちに廃園になる。そのうちというのは、今の段階で説明されているので、親御さんは今から何年も後の話であるが、自分の子供が卒園するまでであるか、ないかは既にわかっている。
- 委員 親御さんの意見を読んでいたら、「なぜそうせざるを得ないか」という根本的な説明がパブコメではできないのか、それともそれを避けているのか、それを考えながら読んでいた。これですべてが決まるわけではないので、そこが詳しく説明できるかできないかの境界（ガイドライン）なのかと思った。



- 委員 我々は実体的な判断はしない。基本中身には入らない。中身は中身の所で決定してもらおう。むしろパブリック・コメントのやり方。市民の意見に対して丁寧に答えているか、市民の意見を反映するシステムを取っているか、案を作る段階で出ているかどうかなどを、我々は事後的に評価をする。その結果、市政と市民との情報共有を進めていくことになる。パブリック・コメントの仕方に対する評価を行う。中身については、決めるべきところで決めよう。
- 委員 毎回第1回目の審議会では、必ず中身について意見を言えると思って来られる方がいる。
- 委員 他の方もこのような誤解をされて来られているのではないかと。
- 委員 評価の例題を見て、「字・表が大きい」などの評価であれば要らないのではないかと思った。
- 委員 過去は様式やキャッチコピー等がバラバラだった。ここ5、6年で統一されてきており、我々も見やすくなった。パブコメを繰り返すうちに成熟されてきている。そこの繰り返しを狙いであり、内容についての話ではない。長い時間をかけて丁寧な動きをされているなどは思っている。
- 委員 印象としては、市役所の方針に近いものは「意見を入れましょう」とあるが、遠いものはすぐに「排除しましょう」となっている印象である。パブコメ委員が頑張って、市役所が市民の意見を聴いて貰えるようにしてほしい。
- 委員 市民の意見を聴いてほしいというのが、「全く耳を貸さない」という課題での評価（D・E等）であると思う。
- 会長 評価を確定したい。多数は「B」となっているが、審議会としては「B評価」でよいか。
- 委員 （全員同意）
- 会長 審議会としては「B評価」とする。
- No.2「宝塚市公共施設等総合管理計画（案）について」を審議する。** 同じように一人ずつ意見を頂戴する。
- 委員 評価「A」とした。トップページがわかりやすく、内容に入っていくやすかった。
- 委員 評価「C」。意見の件数は8件と少なかった。ワークショップ・ミーティング等の働きかけが少ないと思った。公共施設全体を通じての話なので、もう少し市民全体に対する働きかけが必要だったのではないかと思った。

- 委員 P F I（民間委託）は大失敗した例が多い。市はそのことを知っているのか。
- 委員 公共施設の問題は市民に対して「今後の参考にしたい」という返答が多かったので、前向きにとらえられるかと思った。ただ、公共のインフラ整備の問題になった時に、管理業者が行政に対してどのように報告をして、それを正としているかが見えてこない。
- 委員 公共施設の割には意見が少ないと思った。多ければ良いというわけではなく、良い意見を出して反映されていくこともあるので、結果としては良いと思う。最初の概要版の冊子は読みやすかった。
- 委員 公共施設のマネジメントについて、市が持っているものに対してどうあるべきかと記載されていることについては評価すべきと思った。評価の中で、建物は多くのデータがあるが、道路などの一般的に使われるものの分析には物足りなさを感じた。水道や下水については、別で案が出ているので、特に問題はない。
- 委員 「公共施設等総合管理計画の目的」がA3で書かれているのは、切るべきかと。「管理計画とは何か」というのをもう少し丁寧に説明された方が良い。意見が少ないことは、日常生活にどう関わってくるかというポイントが見えづらいからではないか。「こういう計画だ」というのをもう少し丁寧に書いてもらえたら、もっと意見が増えたのではないかと思う。回答も良かった。
- 委員 「意見が少ない」ということで評価を低くすべきではない。
- 会長 私もそれほど悪い評価はしていない。「公共施設総合管理計画」がもう少しわかりやすく説明されてほしい。回答は丁寧にしている。  
総合評価としては「B」でよろしいか。
- 委員 （全員同意）
- 会長 No.3「宝塚市水道ビジョン2025（案）、宝塚市下水道ビジョン2025（案）」について、意見を求める。
- 委員 評価「A」。ボリュームはあるが、内容としては、興味があればわかりやすく、工夫されている。
- 委員 評価「B」。件数は少なく情報量が多いが、読んでいてすんなり入った。作り方としては非常に見やすい。
- 委員 ダム、浄水場、配水池、井戸等の幹線のパイプの図がない。下水処理場は持たないのか。処理費についても記載がない。下水管のパイプについても経路図がない。浄水の図面が1枚だけある。ものすごく情報が多いのに、水道とはこういうものですよという

ことを、地図の資料がないのに理解をするのは困難。不親切である。

○委員 資料としては膨大だが、わかりやすい。単価の問題が出てくるが、水道なので受益者負担で今後どのようにしてまとめられるかということに問題は残ってくると思う。

○委員 カラーになっていて、工夫されている。少しでも見てもらいたいという思いがあったからこそ、カラーになった。評価したいと思う。

○委員 基本施策・具体的対策を図表で分けられており、わかりやすい。下水については、本来の下水だけではなく、雨水に対する水の出方を、今後の対応課題としているので評価した。

○委員 「なぜできないのか」という理由がない。No.9「下水道の経営戦略」とセットで委員会で審議されていると思うので、そのことについて書いておくべき。結果の「パブコメ手続き以外の意見」とは何かが説明されていない。結構、修正されている。それが、どの意見を受けて直したのか。自庁直しなのか、どれに基づいた修正なのか根拠がない。

○会長 「パブコメ手続き以外」が何を指しているのかがわからない。

○委員 ビジョンの資料が2025で結果の方についている。本来パブコメをするときに示されるべき。

○会長 総合評価としては「A」にするにはまだ欠陥があるのではないか。

○委員 今後の事を考えると「B」の方が良いのではないか。

○会長 では評価「B」で。以前は「D・E」もあった。確実にレベルは上がってきている。

○委員 事務局の資料で広報誌の掲載に「×」とあるが、載せていないということか。

○事務局 結果の公表を12月19日から行っているが、1月の広報誌に掲載されたということで、結果が出るより後に広報されたということで「×」としている。

○会長 これも「B」でよろしいですか。

○委員 (全員同意)

○会長 No.4「火災予防条例の一部改正(案)について」意見を頂戴する。

○委員 評価「B」。イラストが入っており見やすく、堅苦しくもない。興味を持って見てもらえる構成と思った。もう少し改正となった

事例の新聞記事があれば、市民もよりわかりやすかったのではないかと思う。

○委員 評価「B」。イラスト等が描いており、市民から見ても取っつきやすい。このような構成にしないとなかなか見ないものかなと思った。意見が少ないので、意見収集の仕方等は見直すべきかと思う。

○委員 公表の方法が生ぬるい。

○委員 条例を改正したときに、建物の所有者の財政的な面についてまわることがある。別の形で例えば、貸付制度があるなどが含まれるともっと良いのかと思う。

○委員 意見募集と本編を見ると、3ページに公表の時期・方法・内容とあり、次のページに意見募集の内容とある。これはどう考えたら良いのか。ここに、意見募集の内容は不要。

○委員 概要版は良いと思うが、意見募集であまり意見が出てきていないのは気になる。公表制度についても、もう少しわかりやすく意見募集してもらえれば。資料として国からの通達と施行条例を入れているのは良い。公表と情報公開制度は違うので担当課に言うておくように。この条例は制定されているのか。

○事務局 12月もしくは3月市議会であげられるかと思う。

○委員 ここに載せる際に予定を入れてもらえるとありがたい。

○会長 計画であれ条例（規則）であれ、審議会にかかった後はどうなったかを知るべき。

○委員 上下水道の件については予定が載っているのですが、わかりやすい。載っていないのであれば経過を報告いただけるとありがたい。

○会長 もう一つ。パブリック・コメント審議会にかかって、その後いつから施行されたかを確認する必要がある。

広報誌に掲載するタイミングも基準どおりにされているか。また、広報課側がパブリック・コメントのスペースがないと拒否することがないようにしておいてください。

総合評価は「B」で良いか。

○委員 (全員同意)

○会長 総合評価「B」で。

○会長 No.5「市立長尾中学校体育館等建替計画（案）」について、意見を求める。

○委員 評価「B」。全体としてわかりやすくまとめられていること、配置図・写真等がコンパクトにまとめられているレイアウトが良か



った。課題としては、長尾中学の位置がどこにあるのか示してほしい。上空専用通路が安全面で大丈夫かどうか、それを判断するために位置・周辺情報がわかれば良いと思った。

- 委員 幼稚園の件では人口減少という理由があったが、本件は公共施設として、もっと市民がどう活用していくかということが、表現されていれば良いと思った。意見件数も少なかったので、評価「C」。
- 委員 高低図がないのはなぜか。非常時が心配。
- 委員 長尾の問題については、一本道路が入っているため高低の差があるが、陸橋のようなもので行う。利便性の問題からいくとあまり良いものではない。
- 委員 評価「A」。意見が少ないのはおそらく周辺に対して丁寧な説明をされたため。内容についてはわかりやすく、スケジュールも記載されており、良い。
- 委員 表現の仕方等工夫されており、良い案だと思う。災害対策上の配慮が市民からも高く評価されている。意見の聞き先が第5地区民生児童委員、丸橋小学校育友会に説明している。まちづくり協議会や長尾中学校父兄には聞いていないのか。
- 委員 長尾中学校は聞いていると思う。まちづくり協議会は当然聞いている。民生委員のところには来られている。
- 委員 今の案ができるまでの過程を記載してほしい。地域の意見を取り入れられているのであればその旨を書くべき。
- 会長 そこまで手順を踏んでいるのであれば、プライドを持って入れるべき。総合評価は「B」で。
- 委員 (全員同意)
- 委員 次回審議会開始時に、今回の議事録を見たらうで審議に入るのが良いのではないか。
- 事務局 議事録配付できるように努めます。
- 会長 パブリック・コメントの手続きマニュアル(案)について審議をする。
- 事務局 マニュアルの内容の説明。
- 会長 不明点・意見があれば。
- 委員 3ページ(2)②「職 意見」の職は不要では。
- 事務局 不要な文字が入っていたので削除する。
- 委員 6ページ「意見の提出方法」で、担当課に提出後は、意見が握りつぶされたり変えられたりすることはないのか。出したものはそのまま意見として通るのか。

- 事務局 意見が握りつぶされたり、変えられたりすることはない。出された意見は、そのまま受け付ける。
- 委員 3ページの(2)都市経営会議とは何か。
- 事務局 市の中で重要事項を決める際に行われる会議。
- 委員 3ページについて、市の計画案をまとめ、市議会にすべて伝えるのか。パブリック・コメントをした後、案ができて報告するのか。重要な計画の判断基準は。
- 事務局 議会で判断することになるが、ほとんど分野別の計画については、議決をしていない。市の総合計画くらい。条例は全て議会を通る。
- 会長 パブリック・コメント自体が、市長からの発案される議案、大きな計画、道路建設事業等に係る計画等は、パブコメを行うと条例で決まっている。市長提案議案に係るものは全て対象。議案にならないものも、計画と名前の付くものはふるいにかける。
- 事務局 事業等の基準としては5億円以上。
- 会長 議会が議員立法で出すものはパブコメ対象外。
- 委員 市民の意見を聴かずに作れるのは議員立法。
- 委員 事務局側から見て気になる点は。
- 事務局 11ページ「意見と市の考え方の様式」下部「パブリック・コメント手続き以外の意見」。これは何の意見を指しているかがわかるように修正する。多くは職員の意見である。
- また、先ほど申し上げた「火災予防条例の一部改正(案)」については、昨年の12月市議会で可決しており、条例の施行は平成30年4月からです。
- 会長 以上で、本日の予定案件の審議が終了した。
- 次回の開催日程は、平成29年10月16日(月)午前10時からとし、No.6~12案件の評価について審議していく。